

～ 第2部のスケジュール～

- 1、アイスブレイク（10分以内）
 - 申込順参加者一覧表の番号を伝え自己紹介
 - 仕事以外の今年の目標を1分以内で発表
- 2、個人ワーク（10分以内）
- 3、グループワーク
 - 論点整理（20分）
 - ミッションの共有（20分）
 - 時間があれば取り組むべき内容を討議
- 4、発表（5～10分）
- 5、まとめ（5分） → アンケート記入、解散（18時予定）

※ファシリテーターを各テーブルに配置

※書記（+発表者）はファシリテーターの右横の方をお願いします。

ケースメソッド的検討

～目的達成型の考え方へ～

みんな手段で悩んでいる！
目的で悩んでいるのではない
～形に捉われ過ぎず、楽しく
ディスカッションしてください～

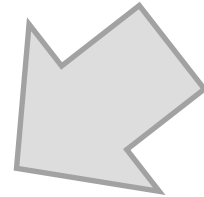


◆本日の目標

事例を通じて、課題解決型から目的達成型の「考え方」に頭を切り替え、目的の明確化「何のために？」その共有化のプロセスを学習しましょう。

主催：長浜米原地域医療支援センター

クマが里に下りてくる。
困ったな。(^_ ^ ;)



対策を考えてしまいがちですが、今回は目標が先です。
対策がぶれない為に…

ポスターで住民に注意喚起



麻酔銃で撃ったり…

目標：人間と動物が安心して共生できる社会

「何のために」を突き詰めていくと
究極の目標（夢）になります。

今回は、手段でなく目標について
話し合います。



クマ社会も楽しく生活！

個人ワーク

■ 論点の抽出（10分以内）

- 事例を黙読し、気になったところ、引っ掛かったところにラインを引く
- その際、何故引っ掛かったのか？
登場人物の気持ちになって考える



グループワーク

話し合いのルール 相手を否定しない
個人ワークが終了次第話し合いを開始

■ 論点（問題点）整理（20分）

- 個人ワークで抽出した箇所を其々が順番に発表し共有する（何故引っ掛かったか）
- 表現が異なるだけでほゞ同一、似ているものをグルーピングする（3題程度に）
- 論点として整理し、それに基づいて討議
- 価値観の調整（お互いの意見をすり合わせる）

■ ミッションの共有（20分）

- 目指すべき方向を明確化し共有する
手段でなく目的を議論する
- 目的と手段が混同すれば「何のために」
に立ち戻る
- 目指し共有すべきイメージ（目的）を
曖昧にせず、十分に話し合う



□ 具体的にどう取り組むか

(時間があれば…)

- ミッション共有後に「取り組むべきこと」を話し合う
- 意見が分かれた場合は、「何のために」を問いかけ、原点に戻る
- 手段の決定を急ぐ必要はない
- 「ベクトルに乗せる」イメージを重視

